

ろうさい ニュース

浜松労災病院
地域医療連携
広報誌

第322号
平成23年6月

— 今月のトピックス —

■新任医師紹介 婦人科部長 小澤英親

浜松赤十字病院からの移動で
4月1日に着任いたしました。

当面、常勤1名体制ということ
で、絶対的に実力の低さは否
めませんが、できるだけ対応し
ていきたいと思っております。

浜松市内に通算10年以上勤
務してきましたので、幸い市内
や近隣の産婦人科の状況は理解しております。何
とか切り抜けて行けるのではと存じます。甚だ
若輩ではございますが、よろしくお願い致しま
す。



■浜松労災病院医療連携講演会のご案内

開業医の先生方を対象に、開催いたしますの
で多数のご参加をお待ちしております。

日	時	平成23年6月29日(水曜日) 19:30~20:30
会 演 講	場 所	浜松労災病院 6階 大会議室
	題 目	「心臓弁膜症の手術について」
	師	心臓血管外科 西澤 純一郎 部長

※ 日本医師会 生涯教育制度履修単位数1単位

お問合せ先	地域医療連携室
T E L	053(411)0366
F A X	053(411)0315

■第20回市民公開講座のご案内

患者さんを対象に第20回市民公開講座を開催い
たします。皮膚疾患の診断と治療について分か
りやすく説明いたします。

1. 日 時 6月28日(火)18:00~19:00
2. 場 所 6階 大会議室
3. 演 題 「足の皮膚疾患とその日常的なケア」
皮膚科部長 船井 尚子

多数のご参加お待ちしております。

■父の日健康相談を開催いたします

父の日をテーマに次のとおり開催いたします。

1. 日 時 6月18日(土)14:00~17:00
2. 場 所 イオン入野店
3. 内 容 健康チェック・健康相談

■第59回浜松労災病院学術集談会のご案内

7月20日(木)16:00より「学術集談会」が開催いたします。多数の演題を予定しておりますの
で、開業医の方のご参加をお待ちしております。

■診療科からのお知らせ

形成外科(変更)6月1日より水曜日の診療を休診いたします。

病院の理念 「仁愛—アカデミズムとヒューマニズム」

■ 消化器外科の近況報告 消化器外科部長 寺谷 直樹

本年度の消化器外科は4名のスタッフ（寺谷、井上、岩井、田上）と乳腺外科部長加賀野井の総勢5名で治療にあたっております。2月に中山部長が転勤され、1名減少となりましたが、40代2名、30代3名と他院に比べ若い力ががんばっております。少数であるがゆえに、すべての症例をスタッフ全員でカンファレンスを行い、“その患者さんにとって最善の治療は何か”を探求し、すぐに手術とは決めつけないで方針を決定していきます。当然のことながら、各種癌診療ガイドラインを基準とし、食道癌・胃癌・大腸癌をはじめとする消化管系悪性疾患、肝・胆・膵系悪性疾患はもとより、胆石症などの良性疾患、イレウス、鼠径ヘルニア、腹壁ヘルニアなどの疾患も加療・手術しております。また、急性虫垂炎、消化管穿孔などの急性腹症も24時間対応可能（手術も含めて）ですので、随時紹介してください。

1990年頃より外科の手術に腹腔鏡というものがはいつてきました。当初は胆摘などの良性疾患のみでありましたが、2000年に入り、癌の手術にも腹腔鏡下手術が取り入れられてきました。当科でも5年前より徐々に取り入れだし、昨年（2010.4月～2011.3月）では胃癌手術全体の48%、大腸癌手術全体の65%が腹腔鏡下手術になっております。腹腔鏡下手術から開腹移行したのは、胃癌で1例、大腸癌で1例のみです。ちなみに胆石症の手術全体での‘ラパ・コレ’の割合は91%であり、開腹移行は昨年0でした。この高い腹腔鏡下手術の割合と、開腹移行の少なさは少人数であるがゆえに、チームとして完成されてきたのではないかと考えております。もちろん総合的にはまだまだであると皆自覚しており、今後も研鑽していく次第であります。

最近が高齢者の手術が増えてきております。高齢者にとって開腹か？腹腔鏡か？どちらがベストかを考えるに当たり、術後の回復の早さをみると、腹腔鏡の方がはるかに優れていると思われます。手術時間は、まだ30分～90分ほど腹腔鏡下手術の方が長いのが現状ですが、それでも患者さんの回復は圧倒的に良好、と感じられます。リンパ節廓清もD2までなら可能と考えられ、根治度も開腹と比べて変わらない印象です。ただ、やみくもに腹腔鏡下手術に向かうのではなく、ガイドラインをベースにその患者さんにとってどちらが有益かを検討してから、決定しております。

地域の先生方には、たびたびご紹介していただき、誠に感謝しております。患者さんのことで質問・意見などありましたら、いつでもご相談ください。必ず、対応いたします。これからも患者さんに喜ばれる医療を目標にがんばりますので、よろしくお願ひします。



■ 腹部CT画像検査サービスのご案内 (消化器内科部長 伊熊睦博)

当院では、最新の64列CT撮影装置を用いた画像診断サービスを提供しています。腹部CT検査サービスは、消化器科常勤医の交代に伴い一時提供を中止していましたが、4月以降再開しています。上腹部、下腹部（骨盤）、または全腹部の領域別に、また単純及び造影の検査を施行しています。なお、腹部単純CTでは、結石や石灰化病態の診断には有用ですが、腫瘍性病変や炎症像の評価には限界があります（多くの肝腫瘍、膵腫瘍等は正常組織との判別が容易ではありません）。腹部臓器は臓器間のコントラストが弱いこともあり、造影検査を加えることで情報量は一般に増加します。検査オーダーの際には御留意下さい。造影剤はヨード性ですので、ヨードまたはヨード造影剤過敏症の方は絶対禁忌となります。気管支喘息の既往のある方は造影剤アレルギーの頻度が高いこと、腎機能の悪い方は造影剤使用後に腎機能増悪の懸念があることなどから、相対禁忌となります。これらの方での個別の造影検査可否判断につきましては、外来あて御相談下さい。ビグアナイド系の血糖降下薬（メルピン、メトホルミン、メトグルコ等）では低頻度ながら乳酸アシドーシスの報告があり、最近では検査前後各2日の休薬が標準となっています。

■地域医療連携室より

連携室では、紹介患者さんの待ち時間短縮を図るため、紹介元の医療機関様の事前予約をお願いしております。

恐縮ですが、当院所定の紹介状様式をご使用頂き、予め、FAXにて当連携室宛てに送信頂きますようお願い申し上げます。また、紹介患者さんには、紹介患者専用受付窓口⑨番を訪ねていただくようにご案内のほど、お願い申し上げます。

TEL 053-411-0366 FAX 053-411-0315 担当 門本、鈴木

浜松労災病院案内図



- 遠鉄バスをご利用される場合
浜松駅バス乗り場10番より、
○蒲小沢渡線(系統番号71、74、78)労災病院下車
○労災・篠ヶ瀬線(系統番号85)労災病院下車
○笠井線(系統番号70)子安下車、徒歩10分
○磐田線(系統番号80)子安下車、徒歩10分
- 東名高速道路をご利用される場合
浜松ICより20分
- 東名高速道路をご利用される場合
浜松駅より約15分

独立行政法人 労働者健康福祉機構
浜松労災病院
 地域医療連携室
 〒430-8525 浜松市東区将監町25
 TEL053-411-0366 FAX053-411-0315
 受付時間 8:15~18:00